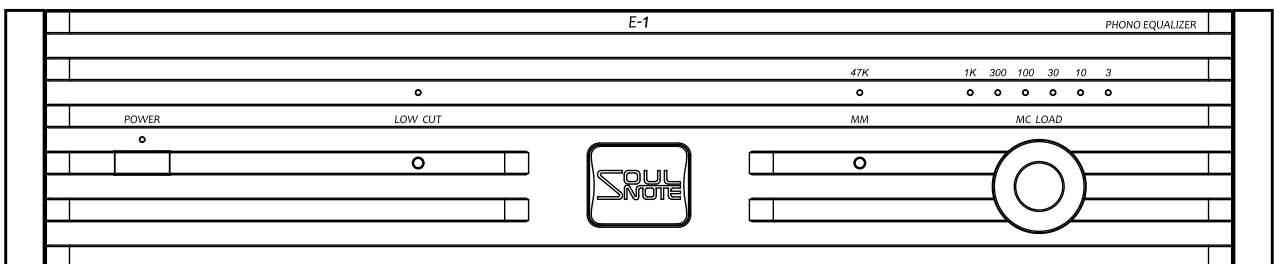


E-1H 取扱説明書

Phono Equalizer Amplifier



ご購入いただき、ありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは大切に保存してください。

なお、ご購入いただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店へお問い合わせください。

目 次

安全上のご注意	3
前面パネルの名称とはたらき	6
後面パネルの名称とはたらき	7
バランス入出力端子について	8
電源ケーブルの接続について	8
スパイクピンの取付けについて	8
エージングについて	8
故障とお考えになる前に	9
保証・アフターサービスについて	9
お手入れ	9
規 格	9
音楽鑑賞のエチケット	10
著作権について	10

* 付属品






• 取扱説明書（本書）	1
• 電源ケーブル	1
• スパイクピン	3
• スパナ	1









安全上のご注意

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。









— 絵表示について —

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。	図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。
	△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。	図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

 警告	
 <ul style="list-style-type: none"> ● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small> <ul style="list-style-type: none"> ● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 表示された電源電圧（交流220ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ● 船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
 <small>水場での使用禁止</small> <ul style="list-style-type: none"> ● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small> <ul style="list-style-type: none"> ● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告

 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・この機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。 ・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。 	 <small>分解禁止</small> <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されています。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

注意

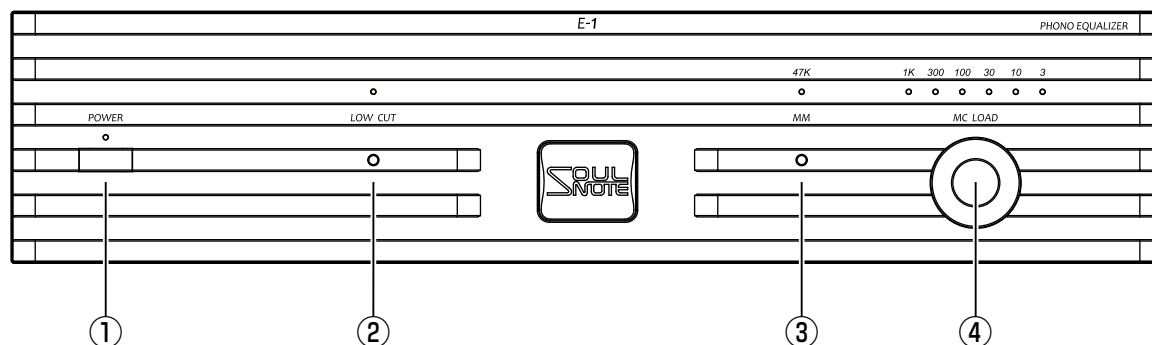
 <ul style="list-style-type: none"> ● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ機器、テレビ、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。 ● 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。 ● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
---	---

⚠ 注意

 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。 ● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス+端子とマイナス-端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス-の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池収納部についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。
 <ul style="list-style-type: none"> ● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。 	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。 ● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	 <p>高温注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

前面パネルの名称とはたらき

前面



① 電源スイッチ (POWER)

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。電源を入れてから約5秒間は音声は出力されません。

② ローカットスイッチ (LOW CUT)

押すとLEDが点灯し、超低音がカットされます。レコードのそり等によりスピーカーのウーハーが大きく動く時に使用します。もう一度押すと、LEDが消灯し、ローカットが解除されます。

* 押すと約5秒間ミュートされます。

③ MMスイッチ

押すとLEDが点灯し、MMポジション（負荷インピーダンス 47k Ω ）となります。もう一度押すと、LEDが消灯し、MCポジションに戻ります。
* 押すと約5秒間ミュートされます。

④ 負荷抵抗切り替えスイッチ (MC LOAD)

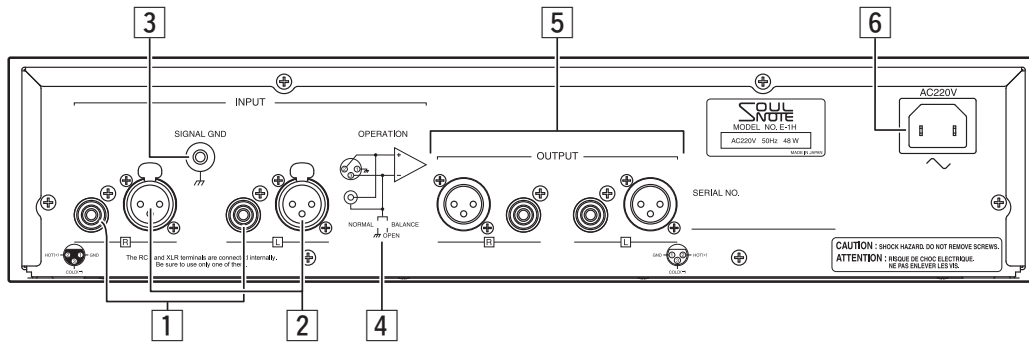
ご使用のMCカートリッジに合わせて適切な負荷抵抗を選択します。MM時は無効です。

【ご注意】

ショックノイズが出る場合がありますので、負荷抵抗を切り替える際はアンプ等のボリュームを下げてください。

後面パネルの名称とはたらき

後面



1 フォノ入力端子 (RCA)

レコードプレーヤーのフォノ出力を接続します。

2 フォノ入力端子 (XLR)

レコードプレーヤーのバランス出力ケーブルを接続します。

※RCAケーブルとXLRケーブルはどちらか一方のみを挿してください。同時に挿すのは絶対に避けてください。

3 アースターミナル

レコードプレーヤーのGND線を接続します。

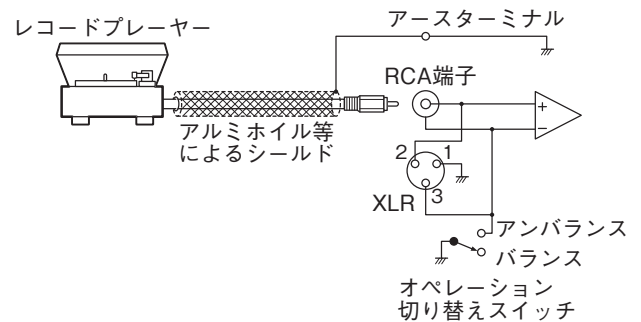
4 オペレーション切り替えスイッチ

フォノアンプの動作を切り替えます。アンバランスを選択すると、RCAケーブルのGND、及びXLRのコールド（3番）が接地されます。

※MM時はスイッチの位置に関わらずアンバランス固定となります。

※入力切り替えスイッチではありません。RCA端子とXLR端子（2番、3番）は本機内部で接続されています。

*RCA入力でもバランス動作は可能ですが、ノンシールド状態になるため誘導ノイズが発生する場合があります。この場合、RCAケーブルをアルミホイルなどで簡易的にシールドし、アースターミナルに接地することで、ノイズが回避できることがあります。（下図参照）



5 出力端子

アンプのCD端子やAUX端子などのライン入力端子と接続します。

・アンバランス出力端子 (UNBALANCED)
アンプのCD端子やAUX端子などのアンバランスインプットのライン入力端子と接続します。

・バランス出力端子 (BALANCED)
XLRコネクターを使用したバランス出力時に使用します。バランスインプット端子をもっている機器と接続します。

6 ACインレット (AC220V)

付属されている電源ケーブルを取り付けて、AC220Vのコンセントに接続します。

バランス入出力端子について

バランス入出力端子にはXLRコネクタを使用しています。

コネクタの接続方法は、タイプが二通りあります。

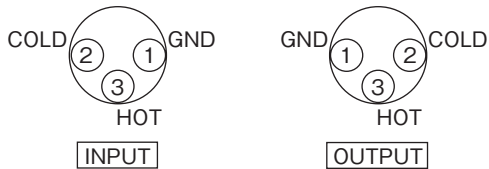
① ヨーロッパ方式 ※本機採用

(②ピン=HOT ③ピン=COLD)



② USA方式

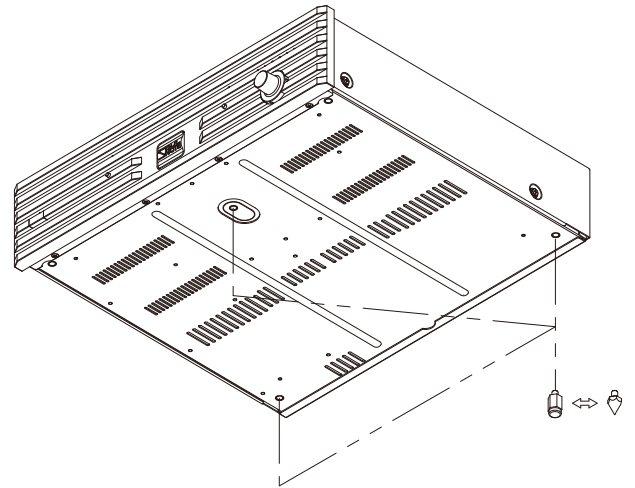
(②ピン=COLD ③ピン=HOT)



本機では、①のヨーロッパ方式を採用しています。XLRコネクタケーブルを使用する場合、USA方式を採用している機器に接続する場合、信号が逆位相になります。その場合は、片側のXLRコネクタの②ピンと③ピンをヨーロッパ方式となるようにつなぎ換えてください。

スパイクピンの取付けについて

本機の足を外し、付属のスパイクピンに交換することで、音質をチューニングできます。点接地にすると、フォーカス、音像定位がよりシャープになります。また、設置する面の材質により微妙に音質をチューニングすることができます。



⚠ 注意

- スパイクピンを使用する際には、けが等に十分に気をつけてください。
- 設置面のテーブル・棚等の表面に傷が生じることがあります。

エージングについて

スピーカーシステムをはじめとして音響製品は一般的にエージングが必要です。

特に本機は高音質パーツを多く使用しているため、本来の音質を得るためには、エージングが必要となります。

本機は、十分なエージングを実施した上で、出荷されておりますので、最良の音質でお楽しみいただけますが、ご使用いただくにしたいがい、よりハイプレゼンサな再生音をご提供いたします。

故障とお考えになる前に

*音が出ない／音が歪む／ノイズがでる

- 電源は入っていますか？
- プレーヤーは接続されていますか？
- アース線は接続されていますか？
- フォノ出力以外の信号を入力していませんか？

お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したりすることがありますのでご注意ください。

*ヒューズの交換

万一、ヒューズが切れた場合は、お買い求めの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。

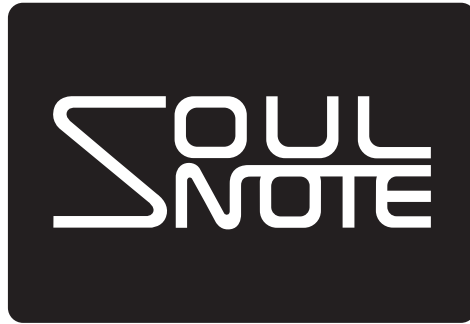
規格

方式.....	完全バランス無帰還フォノイコライザーアンプ
RIAA偏差.....	±0.3dB 20Hz～100kHz
入力感度.....	MC : 0.5mV MM : 5mV
負荷抵抗.....	MC : 3 / 10 / 30 / 100 / 300 / 1kΩ MM : 47kΩ
利得 (GAIN).....	MC : 70dB (1kHz) MM : 50dB (1kHz)
定格出力	
アンバランス出力.....	1.4Vrms
バランス出力.....	2.8Vrms
電源.....	AC220V 50Hz
消費電力.....	48W
外形寸法.....	456mm(W)×109mm(H)×409mm(D)
質量.....	10.5kg

音楽鑑賞のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。





株式会社 **CSR**

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号